

No. 879

ダテテンリュウに栄冠

菊花賞レース

— 京 都 —

競走馬にとって致命的といわれるノド鳴りを克服して見事三冠、(さつき賞、ダビー、菊花賞)を勝ちえるか、タニノムーティエ。

4才馬クラシックレースの最後を飾る第31回菊花賞、レースが15日、肌寒い京都・淀競馬場で行なわれましたこの日、朝から8万5千人の競馬ファンが詰めかけスタンドは超満員。大観衆の見守るなか、関東、関西から菊花賞をものにせんと、はせ参じた16頭が一斉にスタート!

まずシバデンコウが2馬身ほど離して先頭。シュウチョウ、アローエクスプレスと続く。ダテテンリュウ、タマホープは中団を行く。3コーナーの上りでアローが敢然と先頭に立つ。

ゴール前末足を生かしダテテンリュウがトップ。タマホープその内を追い込む。ゴールイン!

関西馬ダテテンリュウが菊花賞を獲得。4コーナーで苦しみながら追い込んだタニノムーティエ11着。表彰を受けるダテテンリュウ。このレースを最後にタニノムーティエは引退するという。競走馬の宿命がそこにある。

13 人の青春

— 和 歌 山 —

和歌山県南紀の観光地。

那智勝浦は今や観光シーズンたけなわです。白波を立てて船がホテルの玄関先へ着くとまず最初におカップ姿の女の子たちが目にとまります。

この風変りな出迎えはホテルのメイドさんではなく、実は彼女たちはこのホテルの関連事業である那智女子高等学校に在籍している、レッキとした高校生なのです。

同校は今春開校した定時制高校で、生徒数はただ今13名、午前中の授業が終わると午後からはホテルでアルバイトこれが毎日の日課です。「体のいい人集めだ」という批判も聞かれますが、そこは若い彼女たち、大いに青春を謳歌しているようです。